

2025年上半期分 羽田空港貨物取扱量

1. 概 要

2025年上半期の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

積込量	178, 151トン	(対前年同期比 1. 9%増)
取卸量	181, 155トン	(同 10. 5%増)
総取扱量	359, 306トン	(同 6. 1%増)

となり、対前年同期比で積込量、取卸量、総取扱量全てにおいて増加となった。

2. 地域通関別動向について

(1) 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田通関	11, 176トン (対前年同期比 42. 5%増、シェア 14. 1%)
その他地域通関	68, 221トン (同 0. 8%減、 同 85. 9%)

となっており、対前年同期比で羽田通関分は増加、その他地域通関分は減少となった。

(2) 輸入量

羽田空港において輸入された貨物量を通関地域別に見ると、

羽田通関	55, 659トン (対前年同期比 19. 6%増、シェア 57. 2%)
その他地域通関	41, 730トン (同 16. 7%増、 同 42. 8%)

となっており、対前年同期比で羽田通関分、その他地域通関分ともに増加となった。

3. 仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量	98, 754トン (対前年同期比 0. 6%増)
取卸量	83, 766トン (同 2. 7%増)

となっており、対前年同期比で積込量、取卸量ともに増加となった。

4. 生鮮・ドライ取卸貨物動向 (その他地域通関分を除く)

2025年上半期の羽田空港で輸入された貨物(羽田通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別でみてみると、

生鮮貨物	8, 651トン (対前年同期比 4.7%増、シェア15.5%)
ドライ貨物	47, 008トン (同 22.8%増、 同 84.5%)

となっている。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

(単位：トン)

		2025年上半期	2024年上半期
羽田空港輸入貨物量		55, 659 (119.6%)	46, 543 (155.7%)
内 訳	生鮮貨物量	8, 651 (104.7%) [15.5%]	8, 262 (111.4%) [17.8%]
	ドライ貨物量	47, 008 (122.8%) [84.5%]	38, 281 (170.3%) [82.2%]

注 () 内は対前年同期比、[] 内は構成比である。

※この資料は再国際化以降についてコメントしています。

- 1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（羽田税関支署）の資料による旨を注記してください。
- 2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課（TEL050-5533-6971）まで。